

ゲートキーパー養成講師派遣事業【沖縄県】

=地域見守りキャンペーン：ゲートキーパーの輪を広げよう=

(実施期間) 平成24年度

(基金事業メニュー) 人材養成事業

(実施経費) 100千円

(実施主体) 沖縄県

【事業の背景・必要性・目的】

自殺の危険性の高い人を早期に発見し適切な対応を行うため、民間ボランティアなど、地域において自殺対策に関わる多様な分野に携わる人材（ゲートキーパー）を養成する。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

平成24年の沖縄県の自殺者数 267人（警察庁統計）で、15年ぶりに300人を下回った。

※ 対前年比：△120人 自殺死亡率：19.1人

総人口	年齢3区分別人口割合(%)		
	年少(0~14歳)	生産(15~64歳)	老年(65歳以上)
1,401千人	17.7	65.1	17.3

(出典：総務省統計局【人口推計】：平成23年10月1日現在)

【事業目標 事業内容】

ゲートキーパーに興味を寄せる幅広い団体からの依頼を受け、当該団体が企画する研修会、勉強会等にゲートキーパー養成講師（保健師、臨床心理士等）を派遣する。

講義内容

ゲートキーパーの基礎知識(40分)

- ・自殺の現状とゲートキーパーの役割
- ・悩みを抱えた人への支援の方法(5つの基本ステップ)

傾聴法・リラクゼーション法(50分)

- ・話の聞き方、安心と情報の与え方
- ・気持ちを和らげるために自分で対応できる対処法(セルフヘルプの勧め)

【事業実施にあたっての運営体制】

- (1) 福祉保健部障害保健福祉課 …… 企画、広報、派遣手続、講師派遣（ゲートキーパーの基礎知識）
- (2) 沖縄県立総合精神保健福祉センター …… 講師派遣（ゲートキーパーの基礎知識）
- (3) 沖縄県臨床心理士会 …… 講師派遣（傾聴法・リラクゼーション法）

【事業の工夫点】

- (1) 講義用資料の標準化 …… 内閣府作成の「ゲートキーパー養成研修用テキスト・DVD」を活用しつつ、沖縄県の自殺者の状況及びゲートキーパー自身の心のケアに関する内容も含めた講義用資料を作成し、講義内容の標準化を図った。
- (2) ゲートキーパー自身の心のケア …… 悩みを抱えた人に関わることによるゲートキーパー自身のストレスに着目し、ストレスマネジメントやリラクゼーション法の講義も併せて行った。
- (3) 事前のアンケート …… 講義を始める前に「身近に悩みを抱えた人、自殺を考えている人に接したことがある場合、対応に困ったこと」をアンケート用紙に記述してもらい、講義の後半で臨床心理士によるコメントの時間を設けた。
- (4) 市町村との連携 …… 市町村の職員にも本事業の講師を担ってもらうため、市町村自殺対策連絡会議の場で本事業の講義を実演し、協力を呼びかけた。
- (5) 地域見守りキャンペーンとの連動 …… 自殺対策強化月間に向けて実施した地域見守りキャンペーン（マスコミ等を活用した広報活動）において、新聞と印刷物を利用して本事業の広報を行った。

【事業成果、その他特筆すべき点】

- (1) 実施団体数 15 団体
- (2) 受講人数 307 人
- (3) 主な受講者 理容師、薬剤師、民生委員・児童委員、介護施設員、保護司、サッカー選手、精神保健福祉士、教職員、就労支援員等



理容生活衛生同業組合



FC 琉球

(問合せ先) 沖縄県 福祉保健部 障害保健福祉課
 TEL:098-866-2190
 E-mail:aa029017@pref.okinawa.lg.jp
 URL : http://www.pref.okinawa.lg.jp